

## 様式4

## 令和4年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 ・ 最終 )

校番19 学校名 呉市立両城小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標・指標設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知識、技能、判断力、表現力と偏りのない指標が立てられている。</li> <li>・ 児童が自他を見つめることができる。</li> <li>・ 体力づくりについて校区の課題を指標にしている。</li> <li>・ 生活習慣、防災に関して自分を守ることを大事にしている。</li> <li>・ 中期経営目標及び短期経営目標が明確に示されており、適切である。</li> </ul>
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭での学習方法を身に付けて、主体的に学習することができるようにするという大事なことが方策とされている。</li> <li>・ 自己肯定感、自尊感情を自然に持つことができるようにされている。</li> <li>・ 計画に対し、継続の取組みが設定されている。</li> <li>・ 実現すれば目標の達成に繋がる内容となっている。</li> </ul>
自己評価の結果と分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年全体だけでなく個の指導がされ、その成果が見られる。</li> <li>・ よさを見つける手立て指導が適切である。</li> <li>・ 問題点をきちんと把握し、適切に分析されている。</li> <li>・ 特に大事とされる地域に起きやすい災害や事故に目を向けている。(崖、川、踏切等)</li> <li>・ 達成率や点数等が数値で示されており、十分分析されている。</li> </ul>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書くことによって力をつけること、ノートづくりへの更なる指導が重視されている。</li> <li>・ 児童が取り組むことにより学ぶ姿勢を高めようとしている。</li> <li>・ 各目標に対し明確に改善策が示されており、分かりやすい。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域・家庭・児童の実態をよく把握されている。</li> <li>・ 情報発信力に感銘している。(校長だより、学校通信、連携等)</li> <li>・ 地域の力や出前講座等うまく活用されている。</li> <li>・ コロナ禍での工夫がされている。</li> <li>・ 委員会での発表が明確でよく伝わった。組織体制のよさを感じた。</li> <li>・ 業務改善において、働き方改革・長時間勤務の削減の効果が出てきているように思った。</li> <li>・ 校長、教頭の負担が少なくなるとよい。</li> </ul>
※評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)		
学校関係者評価を受けての今後の改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結果を受けての改善策を、進捗状況を確認しながら確実に実施していく。特に、確かな学力において書くことに力を入れていく。</li> <li>・ 新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受けて、感染予防対策の教職員の行動統一や児童への指導の徹底を図りつつ、保護者・地域への理解と協力が得られるよう引き続き努めていく。</li> </ul>